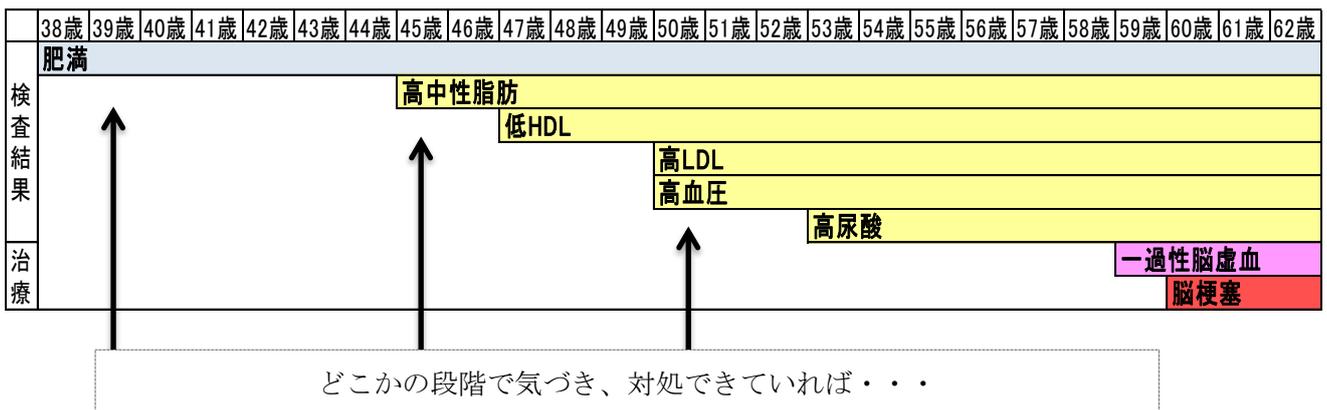


忙しくて健診ムリ！  
若いから大丈夫！と言っていた人が  
突然倒れた・・・なぜ？？



脳血管疾患や心筋梗塞などの生活習慣病は、「ある日突然」起こるように見えますが、実はそうではないのです。

生活習慣病を起こす血管の変化は、10年～15年かけてじわじわと進んでいきます。心筋梗塞、狭心症、脳卒中など、全身の血管が傷むことによっておこる病気は、ほとんどの場合、「**血管を傷める原因**」を持ったまま長年過ごすことにより徐々に進行して発症します。



生活習慣病は痛みやかゆみ等の自覚症状は重症化するまでありません。

では、そんな血管の変化はどうすればわかるのでしょうか？

それには **健診** しかありません。

一年に一度健診を受けることで、あなたのカラダ、血管の状態を知ることができます。

二人でも多くの方が健診を受診して生活習慣病が減れば、国の医療費や介護保険料の負担が減り、景気回復につながるかもしれません。

周りに健診を受けていない人がいたら  
ぜひすすめよう！

